

2022～2023 年中小企業の IT 経営研究部会の活動について

田口由美子（たぐち ゆみこ）
近畿大学

1. はじめに

本研究部会は、中小企業の IT 経営を主体的に担ってきた実務家、および中小企業の活性化、地域支援に係る諸機関・団体と連携を図り、中小企業の IT 経営のあるべき姿を探求し、中小企業の経営力強化を通じて日本の産業振興に寄与することを目的として、2012 年 4 月 4 日に発足した。この目的を達成するために実施している活動は以下の 4 つである。

A. 研究総会

事業報告および事業計画の発表とシンポジウム

B. 静岡県浜松において合宿形式の勉強会

年に 1 回夏季に、静岡県浜松において対面で 2 泊 3 日合宿形式の勉強会

C. 経営情報学会秋季大会の参加

研究部会セッションとして、地域固有の中小企業の IT 経営に関する発表と交流

D. 機関誌発行

中小企業の IT 経営に関する調査・研究の成果として機関誌「IT 経営ジャーナル」の発行

現在のメンバーはビジネスパーソン、IT コーディネータ、研究者など約 40 名在籍している。

次章以降で、2022 年～2023 年に行った各活動の概要を紹介する。

2. 総会

総会は年に 1 回春季に行っており、2 部構成からなる。前半は、研究会メンバーと研究会の目的の確認、活動の振り返りと、今後の 1 年間の計画を立案する。後半では、シンポジウムを行っている。2022 年および 2023 年のシンポジウムの概要は次の通りである。

2.1 2022 年シンポジウム

2022 年は、コロナ感染予防を考慮しオンラインで開催した。参加者は 30 名であった。概要は次の通りである。

(1) 期間：2022 年 4 月 16 日（土）14:45～16:30

(2) 実施方法：Web 会議 Zoom

(3) 内容

■テーマ 中小企業にとってのデジタル人材とは

■パネラーによる報告

「中小企業のデジタル人材」

岡田浩一（明治大学 教授）

「デジタル人材投資は、本当に投資なのか」

松島桂樹（クラウドサービス推進機構 理事長）

「中小企業に本当に必要なデジタル人材とは」

高島利尚（TMI 主宰）

■パネル討議

モデレータ 小松靖直

（日本商工会議所統括調査役（地域 DX 推進担当））

■振り返り

参加者へアンケート（参加者のうち約 8 割が回答）によると、回答者全員満足という結果であった。

また自由回答では、シンポジウムに期待するテーマとして「中小企業で開発が可能なローコード／ノーコード」「新規業、新製品・サービスにつながる中小企業の DX」「これから DX に取り組もうとする会社での育成や評価制度」「中小企業をサポートする側の取り組み事例」等の意見が挙げられた。

2.2 2023 年シンポジウム

2023 年はハイブリッドで開催した。参加者は 33 名（対面参加：20 名、オンライン参加：13 名）であった。対面実施は 2019 年総会以来となり、オンライン参加より人数が多い結果となった。概要は次の通りである。

(1) 期間：2023年4月22日(土) 13:30～17:00

(2) 実施方法：ハイブリッド

対面会場：明治大学

(3) 内容

■テーマ 中小企業におけるDX人材不足を克服するためのローコード／ノーコード活用

■基調講演(問題提起)

「中小企業におけるDX人材不足への処方箋」

栗山敏(ビジネス・ブレイクスルー大学大学院、クラウドサービス推進機構)

■関連団体／バンダー講演

関連団体：ノーコード推進協会

バンダー講演1：ウイングアーク1st株式会社

バンダー講演2：アイエルアイ総合研究所

バンダー講演3：アステリア株式会社

■質疑応答／ディスカッション

総合司会：木村知司

(クラウドサービス推進機構)

■振り返り

参加者へアンケート(参加者約半数から回答)によると、約9割の回答者より満足という回答を得た。

一方、オンライン参加者の動画視聴で不具合があったこと、時間不足で質問を含めた参加者との意見交換の場がもてなかったことが課題として挙げられた。今後、事前の設備の確認を十分に行い、後者については意見交換の時間確保できるように進行を検討したい。

3. 浜松で実施する合宿形式の勉強会(浜名湖フォーラム)

年に1回夏季に、静岡県浜松市において対面で2泊3日合宿形式の勉強会を実施している。通称、浜名湖フォーラム、と呼んでいる。本会は、一般社団法人クラウドサービス推進機構、と共催で実施している。各分野で活躍するビジネスパーソン、ITコーディネータ、中小企業支援者、大学関係者など、が参集し、IT活用をテーマに発表、意見交換を行っている。2022年、2023年は、新型コロナウイルス感染予防や遠隔からの参加のしやすさを考慮してハイブリッドで開催した。概要は次の通りである。

3.1 2022年浜名湖フォーラム

2022年は、参加者41名、発表件数23件である。

(1) 日程

期間：2022年8月26日(金)～8月28日(日)

実施方法：ハイブリッド

対面会場：アクトシティ浜松 研修交流センター

(2) 発表内容

- 1) 高島利尚(TMI)「伴走支援について考える」
- 2) 栗山敏(ビジネス・ブレイクスルー大学大学院)「DX人材狂騒曲に関する雑感」
- 3) 高坂匠(ジバングプロジェクト(株))「本当にやりたかったことを見つめ直す旅」
- 4) 佐々木康浩(三菱総合研究所)「『タスク起点』のジョブマッチング」
- 5) 鞍掛靖(合同会社くらラボ)「小規模事業者が取り組むオンライン配信(会議、講座、イベント)の舞台裏のノウハウ」
- 6) 坂本恒之((株)スマイルワークス)「クラウドERPと地域金融機関との連携」
- 7) 黒岩恵(ESD21)「DXと自動車産業」
- 8) 明神知(北海道情報大学)「DXの本質と本学における取組みについて」
- 9) 竹政昭利((株)オージス総研)「DXのコンサルティング」
- 10) 田中克昌(文教大学経営学部)「IoTはなぜ『見える化』に偏重したのか」
- 11) 田中渉((株)東京IT経営センター)「中小企業のDX経営支援」
- 12) 細見純子((一社)中部品質管理協会)「データ駆動工程設計法の視点」
- 13) 松島桂樹(クラウドサービス推進機構)「中小企業での電子インボイス実施への取り組み」
- 14) 近藤信一(岩手県立大学)「ものづくり中小企業における女性の特性を生かす女性経営者の事業承継」
- 15) 宗平順己(武庫川女子大学)「DX推進に必要なとなるエコシステム」
- 16) 大橋知子((有)ボランチ21)「だれに“DX”の何をどのように伝えるか？」
- 17) 小松靖直(日本商工会議所)「明日の企業経営のためのデジタル活用」
- 18) 大嶋淳俊(宮城大学)「中小企業支援と地域

活性化のための観光・交流 DX の実践」

- 19) 加藤敦 (同志社女子大学)「NPO 法人における「オムニチャネル」の効果」
- 20) 石井昭紀 ((株) イージフ)「文書情報管理に関するアップデート 90 日の壁を超えて」
- 21) 原島啓輔 (センターフィールド (株) 取締役本部長)「システム連携を促進し、中小企業 DX を支援する取り組み」
- 22) 原善一郎 (原善一郎技術士事務所)「IT ガバナンスの国際規格と国内標準類」
- 23) 吉丸滋美 (共同印刷 (株))「印刷会社におけるサービスデザイン思考の有効性」

3.2 2023 年浜名湖フォーラム

2023 年は、参加者 38 名、発表件数 22 件である。

(1) 日程

期間：2023 年 8 月 25 日 (金)～8 月 27 日 (日)

実施方法：ハイブリッド

対面会場：アクトシティ浜松 研修交流センター

(2) 発表内容

- 1) 高島利尚 (TMI)「中小企業支援対象の考え方と支援のあり方」
- 2) 柏原剛 (株式会社柏原剛)「究極の伴走支援～自分もやってみる～」
- 3) 竹村真郷 (ファクトリーサイエンティスト協会)「中小製造業の身の丈 IoT を推進するファクトリーサイエンティスト協会の活動について」
- 4) 田中克昌 (文教大学)「中小製造業におけるグリーントランスフォーメーションと IT 産業」
- 5) 松島桂樹 (クラウドサービス推進機構)「EDI の DX (私たちはどこで間違ったのか)」
- 6) 西村俊樹 (一般社団法人国際人育成支援協会)「奈良観光経営と情報発信の事例報告」
- 7) 竹政昭利 (株式会社オーグス総研)「イノベーション & 組織開発的な何か」
- 8) 向正道 (開志専門職大学)「変化の時代の人材育成」
- 9) 栃川昌文 (株式会社ビジネス・アイ)「福井県の施策による中小企業の DX 支援」
- 10) 原善一郎 (原善一郎技術士事務所)、栗山孝祐 (株式会社スターシステム)、田中勝弘 (株

式会社中電シーティーアイ)「改訂されたシステム管理基準と IOT 導入」

- 11) 加藤智康・若原達朗・萬代みどり・石川義治 (新システム監査基準下の製造業 IoT : データ収集・活用・管理における監査ポイント)「製造業における IoT のシステム監査について」
- 12) 佐々木康浩 (信州大学/三菱総合研究所)「アスリート FLAP 支援サービス」
- 13) 近藤信一 (岩手県立大学)「中間支援機関の DX 推進に向けた課題の顕在化について—アンケート調査結果からの考察」
- 14) 高坂匠 (ジパングプロジェクト株式会社)「私のビジネスチャレンジ」
- 15) 大橋知子 (有限会社ボランチ 21)「『ソース原理』から『プロダクトマネジメント』の時代へ」
- 16) 坂本恒之 (株式会社スマイルワークス)「バックオフィスまるごと DX と記帳代行の終焉」
- 17) 宗平順己 (武庫川女子大学)「サプライチェーンマネジメントの課題へのデジタルツインのインパクトについての考察」
- 18) 西野直也 (NPO IT 静岡)「小零細企業の支援について」
- 19) 石井昭紀 (株式会社イージフ)「文書情報の『活用』に関する成熟度モデルについて」
- 20) 加藤敦 (同志社女子大学)「デジタル・アントレプレナーシップの文献サーベイ」
- 21) 小松靖直 ((株) カリアック)「日本のファミリービジネスと中小企業施策」
- 22) 栗山敏 (ビジネス・ブレイクスルー大学大学院)「DX プロモーターへのエールとしてのリベラルアーツ」

4. 経営情報学会秋季大会への参加

秋季に行われる経営情報学会の研究発表大会で、本会は研究部会セッションとして開催している。2022 年、2023 年に実施した研究部会セッション概要は次の通りである。

4.1 2022 年の研究部会セッション

- (1) 日時：2022 年 11 月 12 日 (土) 9:30～12:00

- (2) 実施方法：ハイブリッド
対面会場：開志専門職大学（新潟）
- (3) テーマ：地域金融機関と連携した中小企業のデジタル化アプローチ
- (4) 発表者（共著）
田口由美子（近畿大学）
松島桂樹（クラウドサービス推進機構）
岡田浩一（明治大学）
大串葉子（椋山女学園大学）
高島利尚（TMI）
坂本恒之（株式会社スマイルワークス）
矢野聡（地銀ネットワークサービス株式会社）

(5) 発表内容

IT活用による生産性向上への取り組みの重要性については、だれもが認識しているところであるとともに、政策によるIT化推進策も20年以上にわたって展開されてきている。今日では、デジタルトランスフォーメーションがキーワードとなり、企業のビジネス革新による生産性向上が求められてきている。しかしながら、多くの中小企業では、ITの活用がまだまだ進んでいないというのが実態である。

近年、中小企業の実業性の向上、経営のデジタル化を目指して、地域金融機関とクラウドのベンダーの連携による中小企業支援のネットワークが推進されつつある。その動向と役割期待などについて考察した。

4.2 2023年の研究部会セッション

- (1) 日時：2023年11月12日（日）13:15～14:45
- (2) 実施方法：対面
会場：東京理科大学（東京）
- (3) テーマ：中小企業における生成AI活用の可能性
- (4) 発表内容

ChatGPTが公開され1年が経過し生成AIは急速に進化し、生成AIのサービス開発や、業務への導入が進んでいる。中堅・中小企業へのアンケート調査によるとメール、議事録など文書を生成する生成AIの導入は、1割に満たない状況と報告されている。一方で、生成AIについて前向きに導入を進めている中小企業もある。本セッションでは、すでに試験運用を含めて国内の自治体と中小企業における生成AI導入が進められている事例について下記、2件の発表にもとづいて、中小企業は、生成AIをどう位置付け、どう向き合えばよいかを考察した。

<セッションでの発表テーマと発表者>
「自治体の生成AI活用」

津田博（大阪経済法科大学）
「中小企業での生成AIの活用事例」
富田良治（TITC 合同会社）

5. 機関誌発行

本研究部会は、中小企業のIT経営に関する調査・研究の成果として機関誌「IT経営ジャーナル」を年1度のペースで発行している。2022年は第9号、2023年は第10号を発行した。

5.1 IT経営ジャーナル第9号

IT経営ジャーナル第9号(2022年8月発行)では、査読付論文1件、投稿論文・レポート5件、等収録している。掲載内容は、次の通りである。

巻頭言

「デジタル化へのハーモニー」

松島桂樹 クラウドサービス推進機構 理事長

<査読付論文>

「中小製造業の大型工作機械活用におけるIoT実現の方向性」

田中克昌 文教大学

<投稿論文・レポート>

「DX人材を志向するSEに求められる3つの能力」

隈正雄 筑波技術大学 名誉教授

「IT化の実態と中小企業経営～IT社会における脆弱性とプロセスとドライブの相関性～」

鳥居義孝 TORY'S TRADING & ADVISING

「DX人材育成の鍵「改善パートナー」および支援体制編成の勧め」

手島歩

「アジャイル開発に真に役立つ組織診断メソッドの開発」

宮島維史 合同会社アイティ・マネジメント研究所

「小規模企業支援における伴走支援の必要性と課題」
高島利尚 TMI 主宰（中小企業診断士，寒川町
地域経済コンシェルジュ）

<シンポジウム抄録>

「中小企業にとってのデジタル人材とは」

<研究報告>

「経営情報学会中小企業のIT経営研究部会 活動報告」

田口由美子 近畿大学 准教授

5.2 IT経営ジャーナル第10号

IT経営ジャーナル第10号（2023年9月発行）
では，査読付論文2件，投稿論文・レポート5件，
等収録している．掲載内容は次の通りである．

巻頭言

「生成AIは文章を創成できるか」

松島桂樹 クラウドサービス推進機構 理事長

<査読論文>

「中小製造業におけるグリーントランスフォーメーションとIT産業に関する一考察」

田中克昌 文教大学

「中小企業における企業内大学の課題とDX化の可能性に関する研究」

大嶋淳俊 宮城大学

<投稿論文・レポート>

「IT推進計画について～IT推進における効率化と退化による崩壊への相関性と構造変化～」

鳥居義孝 TORY'S TRADING & ADVISING

「公益財団法人ソフトピアジャパンによる伴走型DX支援～岐阜県の特徴と政策的な背景から構築・進化した独自モデルの考察～」

難波田隆雄 公益財団法人ソフトピアジャパン

「中小企業支援対象の考え方と支援のあり方～地域の活性化を考慮しての小規模企業支援～」

高島利尚 TMI 主宰（中小企業診断士，寒川町
地域経済コンシェルジュ）

<研究会報告>

「流通業のクラウド活用研究会活動報告」

飯島拓男 研究会事務局

松島桂樹 クラウドサービス推進機構

経営情報学会2022年全国研究発表大会 中小企業のIT経営研究部会報告

「地域金融機関と連携した中小企業のデジタル化アプローチ」

田口由美子¹⁾，松島桂樹²⁾，岡田浩一³⁾，大串葉子⁴⁾，
高島利尚⁵⁾，坂本恒之⁶⁾，矢野聡⁷⁾

1) 近畿大学，2) クラウドサービス推進機構，3) 明治大学，4) 椋山女学園大学，5) TMI，6) 株式会社スマイルワークス，7) 地銀ネットワークサービス株式会社

一般社団法人経営情報学会中小企業のIT経営研究部会とクラウドサービス推進機構（CSPA）共催による研究会

「中小企業におけるDX人材不足を克服するためのローコード／ノーコード活用」

田口由美子 近畿大学

編集後記

岡田浩一 一般社団法人クラウドサービス推進機構 構理事

6. おわりに

いずれの活動も，業種・業界，年齢など異なる多様な参加者が集まり，互いの知見を共有し，フラットに意見交換しやすい場となっている．関心のある方は研究部会に足を運んで欲しい．